

2026年5月13日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

**「GMO GPU クラウド」
マネージド HPC クラスタサービスコンテナランタイム「Enroot」と
Slurm 向けプラグイン「Pyxis」に対応開始
～国内 HPC 型 GPU クラウドで初、コンテナ選択の柔軟性が向上～**

GMO インターネットグループの GMO インターネット株式会社（代表取締役 社長執行役員：伊藤 正 以下、GMO インターネット）が提供する高性能 GPU クラウドサービス「GMO GPU クラウド」（<https://gpucloud.gmo/>）は、2026年5月13日（水）より、マネージド HPC クラスタサービスにおいて、コンテナランタイム「Enroot」^(※1) および Slurm と併用されるプラグイン「Pyxis」^(※2) への対応を開始しました。

本対応により、「GMO GPU クラウド」マネージド HPC クラスタサービスの利用者は、これまで提供してきたコンテナランタイム「Singularity」に加え、NVIDIA が開発したコンテナランタイム「Enroot」および Slurm から直接コンテナを呼び出すプラグイン「Pyxis」も利用できるようになります。ワークロードや利用シーンに応じた最適なコンテナランタイムやジョブ投入の実行方法を選択できるため、より柔軟な運用が可能となります。なお、商用 HPC 型の GPU クラウドサービスとして、「Singularity」と「Pyxis/Enroot」の双方に標準対応するのは国内初^(※3) となります。



(※1) Enroot : NVIDIA が開発・提供する軽量・rootless のコンテナランタイム。OCI 互換のコンテナイメージに対応し、HPC 環境での利用を強く意識した設計が特長。

(※2) Pyxis : NVIDIA が提供する Slurm 向けプラグイン。Slurm のジョブ投入コマンドから直接「Enroot」コンテナを呼び出し、HPC クラスタ上でのコンテナ実行を容易にする。

(※3) 2026年4月16日現在、当社調べ

【サービス提供の背景】

近年、生成 AI や大規模言語モデル (LLM) の研究・開発が急速に進展する中、コンテナ技術を活用したワークロードの可搬性・再現性の確保は、HPC 領域においても不可欠となっています。「GMO GPU クラウド」のマネージド HPC クラスタサービスでは、これまで HPC 環境で広く利用されているコンテナランタイム「Singularity」を提供してきました。

一方で「Slurm のジョブ投入コマンドからネイティブにコンテナを起動したい」「NVIDIA のソフトウェアスタックに準拠するワークロードをそのまま動かしたい」といった要望が高まっています。こうした要望に応え、NVIDIA が開発・提供する HPC 向け軽量コンテナランタイム「Enroot」、および「Enroot」を Slurm からシームレスに呼び出す SPANK^(※4) プラグイン「Pyxis」への対応を追加しました。

(※4) SPANK (Slurm Plug-in Architecture for Node and job Kontrol) : Slurm のジョブ実行基盤を拡張するためのプラグインアーキテクチャ。

【本対応の提供価値と主な機能】

- ・ 「Singularity」と「Pyxis/Enroot」から、ワークロードに最適なコンテナランタイムを選択可能
- ・ Docker/OCI (Open Container Initiative) 互換のコンテナイメージを、「Pyxis」経由で Slurm ジョブへ直接投入可能
- ・ 研究開発環境の再現性・可搬性が向上し、ローカル環境からクラスタ環境への移行をスムーズに実現
- ・ 既存のジョブスクリプト資産を活かしながら、柔軟なコンテナ運用が可能

本対応により、「GMO GPU クラウド」マネージド HPC クラスタサービスは、ワークロードの特性や既存の開発環境に合わせてコンテナランタイムを選択できる柔軟な基盤となります。環境の再現性・可搬性が向上することで、ローカルから本番クラスタへの移行コストを削減し、開発・研究サイクルの加速に貢献します。

【今後の展開】

AI が社会・産業の基盤となる時代において、高性能な GPU インフラの国内整備は、日本の AI 競争力を左右する重要課題となっています。GMO インターネットは、「GMO GPU クラウド」マネージド HPC クラスタサービス継続的に進化させ、AI・機械学習、HPC 領域の開発・研究基盤を提供し、日本の AI 産業に不可欠な国産インフラとして社会と産業のイノベーション創出に貢献してまいります。

■過去参考リリース (抜粋)

- 2024 年 6 月 11 日 : GMO インターネットグループ、生成 AI 向け GPU クラウドサービスに NVIDIA Spectrum-X を国内クラウド事業者として初採用
<https://www.gmo.jp/news/article/9005/>
- 2024 年 11 月 22 日 : スパコンランキング TOP500 ランクインの「GMO GPU クラウド」を提供開始
<https://internet.gmo/news/article/27/>
- 2025 年 8 月 4 日 : GMO GPU クラウド「NVIDIA Blackwell Ultra GPU」を採用
<https://internet.gmo/news/article/71/>
- 2026 年 3 月 25 日 : 「GMO GPU クラウド」Slurm サービス専用プランにて「NVIDIA HGX B300」を提供開始

<https://internet.gmo/news/article/169/>

その他関連リリースはこちら

<https://internet.gmo/news/article/163/>

【GMO インターネット株式会社について】

GMO インターネット株式会社は、ドメイン、クラウド・レンタルサーバー、インターネット接続などのインターネットインフラ事業と、インターネット広告・メディア事業を展開する総合インターネット企業です。「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、社会基盤を支える企業として安心・安全なインターネット社会の実現と、AI で新たな未来を創る価値創造に貢献し、関わるすべての方に「笑顔」と「感動」をお届けしてまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

広報担当 福井

TEL : 03-5728-7900

お問い合わせ :

<https://internet.gmo/contact/press/>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 小犬丸

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

ドメイン・クラウド事業本部 GPU クラウド事業部

お問い合わせ :

<https://gpucloud.gmo/form/>

【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://internet.gmo/>)

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事業内容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売 (レジストラ) 事業 クラウド・レンタルサーバー (ホスティング) 事業 インターネット接続 (プロバイダー) 事業
資本金	5 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容

	インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産（仮想通貨）事業
資本金	50億円

Copyright (C) 2026 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.